

○ 委員長報告

1 2 月定例本会議で報告された文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

平成 2 9 年 1 2 月定例会

文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第 1 点は、教員の長時間勤務の是正についてであります。

このことについて一部の委員から、残業時間の削減など、教員の働き方改革の取り組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、昨年 10 月に策定した県教職員業務改善方針に基づき、学校行事や研究指定校の厳選、部活動における適切な休養日設定の指導等に取り組むとともに、今年度関係職員で構成するワーキンググループを事務局内に設置し、重点的に取り組む事項等の検討を進めている。

また、全国都道府県教育長協議会を通じ、教員の業務を補助するスクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置促進等を国に求める緊急要望を行ったほか、業務改善に関する先進事例の全国調査を進めており、実効性のある施策の推進に活用したい。

さらに今年度は、国の委託を受け、小中学校の業務改善と部活動指導員配置のモデル事業に取り組むほか、すべての県立学校に校務支援システムを順次導入することとしており、こうした取り組みを重層的に進め、教員の長時間労働の是正につなげていきたい旨の答弁がありました。

第 2 点は、公立学校のトイレの洋式化についてであります。

このことについて一部の委員から、本県の公立学校におけるトイレの洋式化の遅れが指摘されているが、県教育委員会として、どのように取り組んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県立学校の耐震化を積極的に進める中、耐震化工事に伴う改築の機会をとらえ、平成 23 年度以降、県立高校 19 校で、246 台のうち 176 台を洋式化している。

また、各市町でも、財政状況等を勘案し、国の補助制度を活用して大規模改修等に併せた効率的な整備が進められており、県内公立小中学校における平成

28年4月現在の洋式化率は、38.1%であり、全国平均は下回るものの、県が独自調査した平成26年度と比べ、8.4ポイント上昇している。

家庭のトイレで洋式化が進み、和式を使用しにくい児童生徒が増加する一方、他人の座った便座に抵抗を感じる児童生徒の存在にも配慮しながら、学校の要望等を踏まえ、快適な環境の整備に努めたい旨の答弁がありました。

第3点は、インターネット空間の安全確保についてであります。

このことについて一部の委員から、神奈川県座間市でインターネット上の自殺予告を発端とする殺人事件が発生したが、自殺予告の書き込みなどを認めた場合の対応はどうか。また、違法な書き込みへの対応や啓発活動はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、警察官によるサイバーパトロールや県民等からの通報で自殺予告の書き込みを認知した場合は、人命保護の観点から、書き込み者特定に向けた各種調査を行い、対象者が特定できれば、直ちに安否確認の上、事実や動機等について聴取し、相談に乗るなど、安全確保を最重点とした対応をとっている。

また、犯罪被害防止の観点から、取締りのほかにも、違法情報等の危険性の啓発を強化しており、企業や団体に対するセキュリティ講話のほか、特に少年やその保護者に対しては、SNS等の利用による犯罪の被害防止に向け、学校と連携した情報モラル教室の開催や携帯電話販売店との連携強化に取り組んでいる旨の答弁がありました。

このほか、

- ・児童生徒の問題行動などの状況
- ・非正規教員の処遇
- ・高齢ドライバーの認知機能検査
- ・県警における働き方改革・優秀な人材確保に向けた取り組み

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。